

# どうする？ 除去土壌の再生利用・最終処分 — 私たちの選択 —

2011年に起きた東京電力福島第一原子力発電所の事故によって、生活圏に飛び散った放射性物質を取り除くために行われた「除染」によって生じた「除去土壌」を知っていますか？ 現在、それらの多くは、福島第一原子力発電所を取り囲むように作られた中間貯蔵施設に埋設されています。ただし、その除去土壌は、法律によって、「中間貯蔵開始後**30年以内**に、**福島県外**で**最終処分を完了**するために必要な措置を講ずるものとする」とされています。30年以内という期限は、**2045年**。埋設したものを掘り起こすの？ 福島県外ってどこ？ このポスターのタイトルにある「再生利用」ってなに？ ぜひ一緒に除去土壌の問題について、話し合ってみませんか？

※ 当日使用する資料は、こちらから事前にお渡しします。事前勉強を強制するものではありませんが、あらかじめいろいろ調べておくと、より活発な討論が行うことができます。

開催日：2024年2月19日（月）

場所：北海道大学工学部A3-71(仮)

## 当日のスケジュール（予定）

08:50	集合&ビデオ視聴
09:00~09:30	資料確認+討論前アンケート
09:40~10:50	小グループ討論
11:00~12:10	全体会議
12:10~13:10	休憩
13:10~14:30	小グループ討論
14:40~15:50	全体会議
15:50~16:10	討論後アンケート+まとめ
16:15	解散

- 5~6名ほどのグループに分かれて、テーマに沿って話し合います
- 合意を形成することが目的ではありません
- 議論の勝ち負けが重要ではなく、参加者全員の意見を尊重しながら、司会者の下で話し合います
- 最後の15分程度で、全体会議のための質問を作成します

- 全体会議では、小グループ討論でまとめた疑問点を有識者に質問する場です
- 小グループの代表者が質問を読み上げます
- 各グループからの質問に、有識者が直接回答します

申込締切：2024年1月31日

連絡先：渡辺直子 [n.watanabe@eng.hokudai.ac.jp](mailto:n.watanabe@eng.hokudai.ac.jp)



長岡技術科学大学で実施した  
討論フォーラムの様子



中間貯蔵施設